

沖縄県議会議員 末松 文信

会派＊沖縄・自民党

令和2年3月特別号

沖縄県議会

〒900-0021 那覇市泉崎1-2-3 6階
電話・098-866-2754 FAX・098-866-2773

詳しくは
会派ホームページへ



一般質問 要旨（令和元年）

知事の政治姿勢について

● 北部地域の振興と定住条件の整備

● 北部基幹病院の早期整備

● 中高一貫の進学校の早期整備

● 高校生のバス通学費の無償化

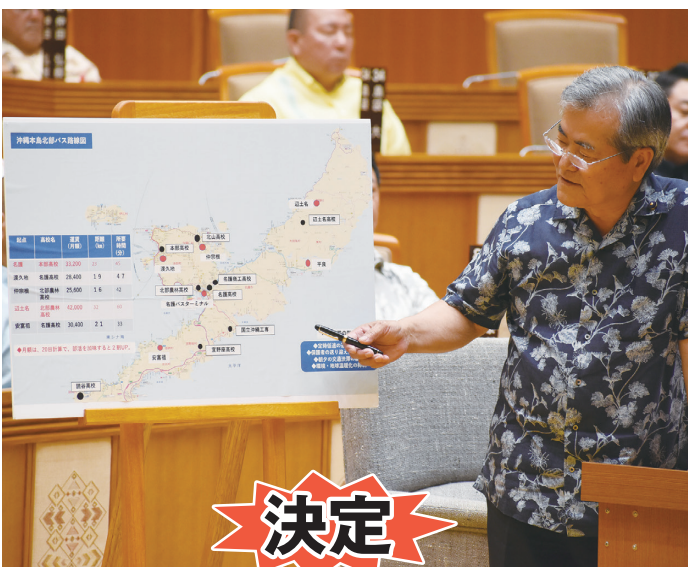
● 北部に県の観光振興課の設置

● 鉄軌道の導入及び海上交通の整備

● 米軍基地の整理縮小と普天間飛行場の全面返還について

● いつまでやっている！二重行政と普天間裁判！
● 普天間飛行場の危険性の除去と全面返還及び工事の進捗状況と裁判の行方

高校生のバス通学費の無償化を提案した。



決定

2020年秋開始バス通学費無償化開始
（全高校生の1割が対象）住民税非課税世帯

官製談合疑惑について

● 知事が委託予定業者と契約前夜の会食
● 委託業務の発注経緯等を質す
● 契約が随意契約であるにも関わらず契約金額が予定価格と同額である。
● 業務代金の支払いも業務が完了していないのに清算することなく請求書通り支払い済。

重点課題

Ⅱ救える命を救うためⅡ

北部基幹病院の早期整備

県立北部病院327床と北部地区医師会病院236床を統合して450床程度の基幹病院整備を求める

Ⅱ現状Ⅱ

○ 慢性的な医師・看護師不足、また医療機器等の更新ができず診療科目の閉鎖等、北部地域で医療を受けられず中南部での医療を余儀なくしている北部地域住民が20%を超えている。まさに異常事態である。救える命が脅かされている。

○ 北部地域住民は、住み慣れた地域で必要な医療が提供され安心して、子どもを産み育て、健康な生活を営むために北部基幹病院の早期整備を求めている。



令和2年2月定例議会



■質問 仲田 弘毅
沖縄のシンボルである首里城の復元再建のあり方と予算に関する国の調整をどうするか問う。また国内外に向けて的確な対応策が求められている「新型コロナウイルス」や「豚熱」等への対応策について医療行政と農林水産行政の姿勢を問いたい。



■質問 座波 一
首里城火災の責任問題、万国津梁会議業務に関する疑惑問題と職員倫理のあり方を追及し、MICE施設整備事業で派生した和解金問題を追及する。



■質問 中川 京貴
沖縄県の最大の振興策は、教育と人材育成、観光振興である。県内社会資本整備や次期沖振計策定について問う。



■質問 山川 典二
我が国初の沖縄県警国境離島警備隊創設の目的と内容、沖縄県の地震、津波など防災対策。大幅に遅れている消防防災ヘリコプター導入事業。那覇空港第2滑走路の活用策。薬学部設置の可能性などについて質問する。



■質問 大浜 一郎
次期沖振計へ向けた正念場の年。沖縄関係予算はこれでいいのか？離島振興は次期振計の重要な柱！その取り組みを問う。



■質問 花城 大輔
首里城火災・豚熱・新型コロナウイルス等々々々起る異常事態に対して県の危機管理はどうか？この他にも外郭団体の人事問題やMICEの和洋金サングの採掘許可申請に対する姿勢など行政としての機能を有しているとは思えない。正常に機能するよう指摘。



■質問 西銘 啓史郎
危機管理体制（首里城火災・豚熱・新型コロナウイルス等）について追及すると同時に、観光立県としての課題解決を質し、実現に向けて提言を行う！



■質問 又吉 清義
首里城火災・豚熱の発生・中国での新型コロナウイルスの発生による県内観光への影響等、県は危機的状況に直面している。玉城県政は万全な対策と対応が出来たか？又、一刻も早い普天間の危険性除去の為に取り組むべき事が、今では議論が噛み合わない。知事の真意を問う。

